

『スイッチオン!』の意味をご存知ですか？

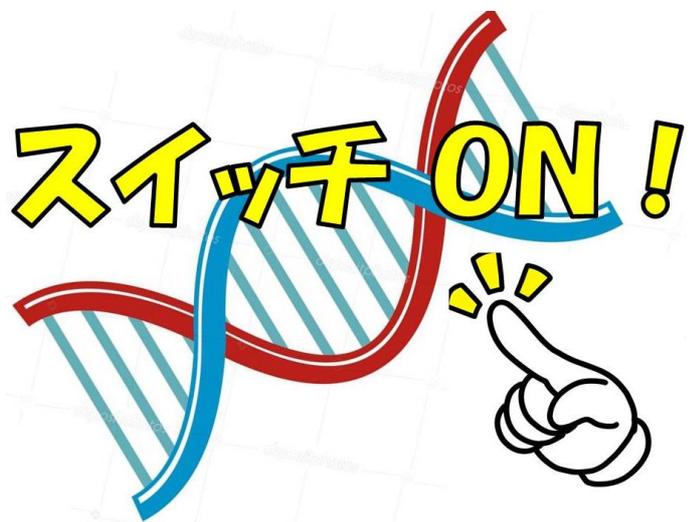
私たちは、筑波大学名誉教授 村上和雄先生が提唱されている「眠れる遺伝子スイッチON」から屋号を頂き、社名を『スイッチオンサービス』としました。その「スイッチオン」についてです。

●眠れる遺伝子とは？

私たちのからだには、約 60 兆個の細胞があります。その一つ一つの細胞の核の中には、二重らせん状のDNAがあります。そのうちタンパク質をつくる情報に関する部分を「遺伝子」と言います。この遺伝子、実際に働いているのはわずか 5%ほどと言われており、残りの 95%の遺伝子は OFF(眠れる遺伝子) になっていると言われていています。

●遺伝子（運命）は変えられる!?

がん家系という言葉が象徴するように、両親から受けついで遺伝子は「運命を決める存在」であり、一生変わることなく、運命は変えられないと考えられていました。しかし、近年の研究で、実は「遺伝子の配列はそのままでも、自在に遺伝子の働き方は変わる」、運命は変えられるということが分かってきました。この仕組みを『エピジェネティクス』と言い、まだ詳しくは分かっていませんが、遺伝子が日々の生活から影響を受け変化することが分かっています。



現状（心身状態・生活）を変え、なりたい自分になれる可能性があるということです。そのためには、不必要な働いている遺伝子は OFF にして眠ってもらい、必要な眠れる遺伝子を ON にして働いてもらうことが大切です。私たちはリハビリテーションを通じて、ご利用者さまの新しい可能が開かれることを目指します。**私たちの合言葉は、『眠れる遺伝子スイッチ ON!』**です。

●遺伝子スイッチを ON するには？

遺伝子スイッチを ON するには、生活環境・食べ物・運動・心理状態・考え方など日々の『習慣』が関係します。「眠れる遺伝子スイッチ ON」を提唱する村上和雄先生は、特にモノの考え方、「プラス発想」で、いつもよい気分であることを重要視されています。いい生活習慣を、「継続すること」が遺伝子（運命）を変えます。スイッチオンサービスのリハビリテーションでは、何気なく行っている習慣を見直し、よりよい習慣づくりをご提供したいと考えております。

（参考文献）村上和雄：生命の暗号-あなたの遺伝子が目覚める時- サンマーク出版，1997年

Giacomo et al. Advances in epigenetics link genetics to the environment and disease, Nature, 571:489-499, 2019

